

コミュニティ・スクール通信

2023年8月30日発行

地域に開かれた学校

学校教育目標「ふるさとを愛し未来を担う生徒の育成」を掲げ、スタートした令和5年度。

8月が終わり、折り返し地点を迎えようとしています。これまで、地域の方々の協力のもと、施設見学、職場体験、交流、社会人講話などを実施し、地域と連携しながら教育活動を行ってきました。地域連携を通し、生徒たちは様々な大人と出会い多くの世界に触れています。地域教育力を通じた本物の出会いを通じた学びこそ、これからの自分の財産であり、また、地域の未来を担う原動力となることでしょう。

開かれた学校づくりを目指したコミュニティ・スクール。これから不定期で発行する「コミュニティ・スクール通信」では、家庭や地域、関係機関の連携協働の様子を紹介していく予定です。

～利尻町の未来へ～2年総合「福祉」



利尻町町役場保健課 地域包括センター
による高齢者疑似体験

～利尻町の伝統を受け継ぐ～



地域行事 北見富士神社例大祭の参加
四ヶ散米舞

コミュニティ・スクール

(学校運営協議会制度)

「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。

コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。(文部科学省 HP より引用)

学校と地域の連携は、以下の視点からも必要不可欠な取り組みです

- 学校を核とした地域の活性化
- 生徒の社会的自立につながる体験、交流、施設訪問
- 保護者にとっての学校教育の理解
- 専門性をもった講師の参画→授業の質の充実
- 郷土への愛着、地域行事への参加
- 部活動支援→教員の生徒と向き合う時間確保